

事業報告書

事業名

乳幼児の子育てママパパへ向けた「自然あそびと森あーと体験！」

- 1 実施団体 特定非営利活動法人
子どもと文化のNPO 子ども劇場西多摩
- 2 担当課 子ども家庭支援課、公園緑地課
- 3 実施時期 令和3年12月2日～令和4年3月28日
- 4 参加者

参加者合計／大人50人、子ども63人

乳幼児（0～4歳）の子どもを持つ親と子

令和3年12月2日 3組

令和4年

1月6日／2組、2月3日／9組、2月21日／6組

3月3日／8組、3月17日／11組、3月28日／8組

5 実施場所

青梅市新町 新田山公園

6 事業の目的

- ・子育てに外遊びの充実の必要性を意識してもらう事。
- ・子育ての仲間づくり、交流のきっかけとなる事。

7 役割分担

- ・団体の役割

企画、運営、チラシ、WEBやSNS媒体での広報

- ・担当課の役割

情報の周知協力、広報おうめへの掲載、ホームページへの掲載。

8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

- ・お母さんにとっても子どもにとっても、自然を身近に感じ、外あそびが身近な遊びとなった。
- ・子育てママ同士が、つながりを持つきっかけになった。
- ・スタッフとの会話から、子育てに関する不安や悩みが解決したケースがあった。
- ・外遊びが好きな子ども同士、一緒にあそんだり、ふれあいが持てた。
- ・普段はできない事や、1人ではしない遊びなど参加者が体験できた。
- ・親子での外遊びの楽しさを実感し、市内の身近な資源を活かした公園や外遊びの需要増加につながった。

9 目標達成

事業の目標：

- ・ママパパにとって、自然を身近に感じ、外あそびが身近な遊びとなること。
- ・子育てママパパ同士が、つながりを持てるようになること。
- ・市内の資源を活かした公園や自然遊び・外遊びの需要が増える事

参加者アンケートを実施し、上記の目標の達成度合いを測定
80%以上の満足を目指す。

目標の達成具合：

参加者アンケートより：5段階評価で4以上の満足度が100パーセント
となった。

参加者合計／大人50人、子ども63人

10 事業の実施内容

【12/2（木）クリスマスをあそぼう】

- ・五感を活かしたふれあいやあそび（葉っぱのプール）
- ・アートクラフト体験＞木の実フレームづくり

【1/6 お正月をあそぼう】

- ・クラフト紙でトンネルあそび・汽車ぽっぽ
- ・アートクラフト体験＞とらの絵馬にスタンプ

【2/3 せつぶんをあそぼう！】

- 鬼の玉入れあそび
- アートクラフト体験>クラフトぼうしやさん 鬼のぼうしづくり
【2/21 わくわくあそぼう!】
- ふれあいあそび(汽車ぽっぽごっこ)
- アートクラフト体験>ねこのバッグに顔書き
【3/3 ひなまつりをあそぼう!】
- ひなまつりのへんしんコーナー
- アートクラフト体験>さくらのはなびらのフレームづくり
【3/17 春がくるよーあそぼう!】
- かくれんぼごっこ
- アートクラフト体験>野菜はんこでトートバッグ作り、木の実工作札づくり
【3/28 春が来たーあそぼ!】
- 最後なので いままでのいろいろ>草笛おじさんとおしゃべり、鬼の玉入れ
- アートクラフト体験>さくらのはなびらの板にお絵かき、リボンをつけてメダルに

11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	4	4
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	3	3
(3)協働の役割分担は適切だった	4	4
(4)協働相手は適切だった	4	4
(5)対等な立場での協力関係を築けた	3	3
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7)事業実施は円滑になされた	4	4
(8)設定した目標が達成された	4	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	3

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

今後の課題としては、同じ条件での継続を希望する方もいたが、新田山公園での活動だからこそその良さは違う場所ではつくりきれないので難しいことです。

また、人数が増えた時に対応しきれない難しさもあった。

3月の参加者が増えた為、スタッフを増やす体制で臨んだ。臨機応変な対応が必須。

会員制ではない分 気軽に参加できるが、1人で子育てをしている保護者がつながりを持つ機会として、もう少し回数を増やしてやりたかった。

13 その他

1月、午後に雪が降った回に 子ども家庭支援課の市川さんが見学にいらしてくださいました。あまりに寒い日だったので、キャンセル続きで参加者は少なかったのですが、子どもたちと一緒に見守ってくださいました。ありがとうございました。